

北海道大谷室蘭

第14回卒業証書授与式号

令和8年2月28日 発行
PTA会報 北海道大谷室蘭

写真部 2年D組 永山 愛梨



ご卒業おめでとうございます



3年A組



3年A組の皆さんへ 担任 江戸勇介

卒業おめでとうございます。

初めて入学段階から難関進路クラスとしてスタートし、様々なプレッシャーや葛藤の中で過ごしてきた学校生活だったと思いますが、みんなで協力し、文武両道を体現してくれました。3年生になった4月に私が立てた目標『みんなが3年A組で良かったと思って卒業式を迎えること』は、皆さんにとってどのように映っていますか。私はみんなの担任を持って最高でした。本当にありがとう！

18歳で大人の仲間入りとなる皆さんは、これからは立派な大人として見られます。しかし、立派な大人であっても世の中は理不尽で、厳しく感じるものです。一生懸命になればなるほど挫折を味わい、今までの自分の価値観を疑う瞬間が訪れることでしょう。挫折こそ、これまでの自分をアップデートするチャンスです。多様な経験をした皆さんには挫折を乗り越える力があるでしょう。失敗を恐れずに、自覚と責任を持って自らの道を力強く歩いていってください。大人の一員としてますますご活躍されることを期待しています。

かけがえのない日々 矢野 芽衣

遂に「卒業」という日を迎えようとしている今、A組のみんなはどんな気持ちでしょうか。私は、A組で過ごした3年間とても楽しく、できることなら卒業したくないです。3年前の4月に私たちは出会い、日常生活や学校行事、様々な場面で仲を深めてきました。

中でも今年は、学校祭での総合優勝や球技大会のバレーボールでの男子優勝など、たくさんの感動に出会いました。勉強だけではなく、むしろそれ以上に何事も楽しく全力で挑めるというA組の強みを発揮することができました。この3年間の絆は偉大です。

江戸先生へ。誰よりも熱く、「負」の文字がない先生のもとで、私たちはお互いの部活動を応援したり、テストでは競い合ったりと、同じく熱い人間に成長することができたと思います。いつも私たちに寄り添い、印象的なトークで笑わせてくださる江戸先生のクラスで本当に良かったです。3年間ありがとうございました！

みんな進む道は別々だけど、夢をかなえてまた集まろうね！たくさんの思い出をありがとう！Good luck～！

3年B組



どうもありがとう!!! 担任 坂本 亘

卒業おめでとう!!!

大谷室蘭高校は楽しかったですか？

私は、みんなの協力のもと、楽しい時間を過ごし、みんなとの関わりの中で多くを学び、みんなの笑顔から多くの力をいただきました。

入学してからこれまで、色々なことがあったと思います。そのほとんどが思ったとおりの結果につながらなかったことのほうが多かったと思いますが、結果を出すまでの取り組んだ経験は大きな財産として残っているはずです。その経験と「若さの特権」を活かして、トライ&エラーを繰り返して大きく成長して いくことを、心から楽しみにしています。

これからも「人とモノを大切に」して、「自分を律し、自ら動く」ことを忘れずに、お互い「格好いい人」への歩みを止めずに前に進んでいきましょう。とても楽しく充実した日々をありがとう!!!

みんなありがとう 尾崎 悠空

3年B組は、男女仲が良く、学校行事や目標に対して熱く全力で取り組めるクラスです。

特に学校祭でのクラス発表や、体育の授業での男女混合サッカーやバレーボールなど、行事に向けて楽しみながらも真剣に取り組んできました。

担任の坂本先生は熱血で、生徒一人ひとりに親身に寄り添ってくれる最高の漢です。このクラスで学んだことを生かし、最高の漢・女になっていきましょう。坂本先生、そしてクラスのみんなと過ごせた時間は最高の思い出です！3年B組のみんなありがとう！

3年C組



3年C組のみんなへ

担任 齋藤 里帆

卒業おめでとうございます。

みんなにとって高校生活の3年間は どうでしたか？

先生にとってはとても濃い3年間でした。教員生活、初めての3年間を見させてもらい、この2年は本当にあっという間でした。みんなで楽しく過ごす時もあれば、先生の声が廊下中に響き渡ることもあったりと、充実した日を送らせてもらいました。ありがとう！

学校祭で担任が発熱で不在だった時は、他の先生方の力を借りながら自分たちで模擬店もクラス発表も、片付けも自分たちで動いてくれました。体育祭は、日頃の教室掃除をかけた体育を行っていたおかげで総合優勝をすることができ、クラスの団結力が見えた学校行事でした。

これから、それぞれの道へと進みます。これから楽しいことも辛いことも多くあるかと思いますが、でも自分がやってきたことを信じつつ、周りの人の意見も聞きつつ、立派な大人へと成長し続けてください。

ありがとう3年C組！

松本 健汰

私たちのクラスは、生徒の個性が強く、自由な人がたくさんいるクラスです。そんなクラスですが、いざとなったときのクラスの団結力はどのクラスにも負けない良いところです。実際に体育祭では優勝することができました。そんなクラスにしてくれたのは担任の齋藤先生のおかげだと思います。齋藤先生はクラスが悪い方向に進もうとしたとき、正しい方向に導いてくれる先生です。本当に齋藤先生には感謝しています。これからは、それぞれがばらばらの道に進むこととなりますが、このクラスで過ごした思い出は忘れません。

また会いましょう！2年間ありがとう！

3年D組



行事は最高 担任 中居 千文

3Dのみんなと過ごした日々は2年間という短い間でしたが、学校祭、体育祭は心から笑顔になれる楽しい時間を共に過ごしました。特に学校祭のクラス発表は2年、3年共に懸命に楽しく練習し、3年では念願のファイナル進出を果たしました。私はファイナル進出の報を聞いたとき、体育館で思わず飛び跳ねて喜びました。それだけうれしかったのです。28人全員が本当に心をつなげて取り組んだからこそその結果だと思いました。

みんなにはそれだけの偉業を成し遂げられる大きな力があります。新しい場所に行っても周囲の人たちの話にしっかり耳を傾け、忠告や注意は素直に受け止めてください。現代は残念ながら失敗が許されない、完璧さのみ求められる世の中となってしまうかもしれません。もちろん絶対許されない失敗もありますが、多少の誤りは許す心も必要なのではないかと思えます。注意をしてくれるということは、失敗を許し、次の成功につなげる意味があります。自分に注意や指導をしてくださる人の存在を否定することなく、前進してください。

2年後の大谷成人式で会えることを楽しみにしています！

D組のみんなへ！感謝を込めて 岡垣 琉姫

私たちD組は、朝のHRから騒がしい一日が始まります。静かに先生の話の聞けばすぐ終わるのに、教室のあちこちで話し声が止まらず、朝から怒られる毎日でした。授業中も話し声や笑い声が止まらず、静かな瞬間は滅多にありませんでした。唯一静かになるのは、体育の後で疲れている時か、お弁当を食べておなか一杯になり寝ている時だけです。そのせいでたくさんの先生方を困らせ、迷惑をかけてきました。

ですが、学校祭のクラス発表では少ない練習期間の中、それぞれの部活動が終わった後に教室へ集まり、ダンスを必死に覚えました。本番では、普段の姿が嘘のように、全員がクラスのために全力で踊りきりました。総合二位という結果を残せたのは、このクラスの底力だったと思います。

問題だらけで手のかかるクラスだったけど、一度しかない高校生活の半分をD組として過ごせて本当によかったです。クラスのみんな、離れ離れになってもそれぞれの場所で頑張っているよね！中居先生、本当にお世話になりました！

令和7年度 卒業生 お祝いの言葉

望洋大谷学園

理事長 西崎 習一

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。共に三年間を支え見守ってこられた保護者の皆様には心よりお祝いを申し上げます。また本校の教育に対しご理解を頂き、様々な場面でご協力を頂きましたことに対し重ねて感謝申し上げます。

皆さんは大谷室蘭で親鸞聖人の教えに出会うことはできましたか。

京都、東本願寺のお堀端に法語が書かれた行灯が設置されています。行灯の片面には日本語で、もう一方の面には英語で法語が書かれています。京都に観光に来られた多くの外国の方々が英語で書かれた行灯を写真に収めていかれます。その中の一つに

人は出会いによって育てられ、
人生は別れによって深められる

という言葉がありました。

今まで皆さんは多くの人と出会い、これからも様々な人との出会いが待っています。その出会いの中で多くの喜びや悲しみ、楽しみや苦しみ、そして別れも経験することでしょう。そういう出会いや別れを通して人間としての成長や、人生の幅や深さということを経験していただきたいと思います。

大谷室蘭で出会った仏教、親鸞聖人の教えが人間として生まれてきたことの意義を問い、皆さんのこれからの人生の指針になることを願い、お祝いの言葉といたします。

令和7年度 卒業生 お祝いの言葉

北海道大谷室蘭高等学校

校長 竹本 将人

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。また、ここまでお子様を温かく見守り、お育てされた保護者の皆さまには、お祝いを申し上げますと共にこれまでの学校へのご支援、ご協力に対しまして衷心より厚くお礼を申し上げます。

さて、本校は『宗祖親鸞聖人が開顕された本願念仏の教えをよりどころとし、常に真実を求めんとする宗教教育の実践』という言葉在建学の精神に掲げ、親鸞聖人の生き方や教えに自らの生き方を学ぶことを大切にしている学校です。

本校には、学校目標というものはありません。その代わりにするのが教育スローガンの「今日も会えたね あしたも楽しみ」という言葉です。あたたかい雰囲気をもった学校になりたいという思いが込められています。そしてそこに集う一人ひとりがお互いを大切に思いながらの学校生活を送ってほしいという願いが込められています。

これからも、「今日もあえたね あしたも楽しみ」という言葉を人生のスローガンとして、皆さん一人ひとりに届いている、いのちの願い、仏さまの願いとの「であい」を求めながら、更に大きく成長されることを念じています。

皆さんは三年間の学びにおいて、多くの喜びや悩み苦しみと共に様々なことを経験されてきたことと思います。どちらかというと自分の思い通りにならなかったことが多かったのではないのでしょうか。これからも悩み、苦しみと共にあるのが私どものあり方です。思い通りにならない原因はどこにあるのかということを見つめ、どうやったらそのことを受け止めていけるのかということを考えながら、自らが主体的に生きる一人ひとりに育ててほしいと願います。

これからも本校の建学の精神は、皆さん一人ひとりと共にあります。

令和7年度 卒業生 お祝いの言葉

父母と先生の会 会長 大家 利基

卒業生の皆様、ご卒業誠にありがとうございます。

三年間という限られた時間の中で、仲間と笑い合い、悩み、挑戦し、成長してきたその全てが、今の皆さんを形作っています。そのたゆまぬ努力の積み重ねに感服いたします。また保護者の皆様、お子様が立派に成長し、この門出の日を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。三年間のPTA活動に関しましてもご理解ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて皆さんがこれから歩む社会には、沢山の「こうあるべき」「こうしたほうがいい」という声が溢れています。外からの基準が、まるで正解のように語られるのが社会です。しかし本当に大切なのは「こうありたい」という自分自身の思いです。誰かと比べる必要も、急ぐ必要もありません。社会にある漠然としたものに浸かるのではなく、他人の期待に応えるための人生ではなく、自分が納得できる道を選び取る勇気を持ち続けてください。自分を真の意味で豊かにできるのは、世界広しと言えど皆さんだけです。あとはそれに向けて楽しんでください。

最後に、理事長及び校長先生をはじめ、教職員の皆様、生徒それぞれの個性を大切に、時に励まし、時に厳しく導いてくださり、保護者を代表し心より敬意と感謝を申し上げます。

卒業生の皆さんの人生が、希望と挑戦に満ちた素敵なるものであることを心より願い、お祝いの言葉と致します。

PTA活動報告

今年度は教養部、広報部を中心に、ほぼ本来通りの活動を行いました。

学校祭は昨年度に引き続き、専門部ごとではなく全員で、ごまラーメン、焼き鳥、おでんを子どもたちに提供し、PTAと子どもたちが楽しく交流し、会員同士の結束を固める活動となりました。

来年度もPTA会員同士の交流を深める活動ができることを願っています。

写真：PTA広報部の皆様 1年間お疲れ様でした。



大谷で成人式を

新校舎建設後2016年から実施している大谷での成人式ですが、今年も引き続き無事開催することができました。今年1月10日（土）に、2024年（令和6年）に卒業した生徒たちが集まってくれました。

成人式は、大谷らしく真宗宗歌を斉唱した後、学校長式辞、理事長祝辞、同窓会長祝辞（代読）、生徒会長祝辞が述べられ、本山および本校からの記念品を贈呈しました。その後、成人代表 長谷 鈴二君より挨拶をいただきました。

後半はイベントとして、学年幹事、クラス幹事を紹介し、参加者は思い出映像で高校生活を振り返り、感慨に浸っていました。最後に担任より激励の言葉を贈り、盛会のうちに成人式は終了となりました。

皆さんは2年後となりますが、ぜひ、同級生や先生方との再会の場にしてください。詳細はクラス幹事を通じて詳しくご案内いたします。また、本校HPもご覧ください。

学年幹事

高見 柚稀

安知谷 光

高瀬 葵羽

藤崎 瑞希

クラス幹事

A組 鎌田 愁大

B組 工藤 柊人

C組 佐藤 海月

D組 三和 あき歩



編集後記

今年度は、多少のインフルエンザ流行が見られましたが、授業や行事はほぼ予定通り行われ、充実した1年となりました。難関進路系は入学時より土曜講習、そして今年度から新たに始まった月曜講習に取り組み、高レベルの学力確保に努めました。また、文理系は評定平均アップを目指し、日々の授業や定期考査にそれぞれの力で取り組みました。

2025年は、大きな変化の年ではありませんでしたが、政治は新しいリーダーシップに切り替わり、災害対応は着実に改善し、外交は安定と緊張のバランスを取りながら進みました。国内では、クマ出没、更なる物価高騰、中国との国交などの問題が注目されました。

この「北海道大谷室蘭」に記した行事、言葉の数々から、3年生の皆さんが明るく楽しい充実した高校生活を送ったことを実感しています。卒業後は、仕事や学業に精一杯取り組み、社会に貢献できる一人一人となることを切に念じています。